

平成26年度 生涯学習フェスティバル



運び、組み立て、個性豊かな紹介パネルが貼り出されると会場に活気が。テーブルイスが並び、ミニティカフエ「笑くぼ」の軽食販売の準備も整い、来場者を待ちます。外は雪景色。

13時になると、谷川会長の挨拶によりフェスティバルがスタート。団体発表では、まず江別市生活改善協議会が5年がかりで作成した「食育かるた大会」が行われました。食育かるたは、「水分はちよいちよい補給適量」など食育に関する言葉が読まれているかるたです。参加者はかるたを楽しみながら、日頃の食生活で気をつけるべきことを確認していました。恒例となったMOA美術文化サークルの「ミニ切花体験」では、参加者全員にお花やワイングラスが配られ、みんなで一緒に切花を体験しました。続いて行われた展示発表では、各

事業委員会、江別市女性団体協議会
鈴木 智枝
11月15日(土)、江別市民会館小ホールにおいて生涯学習フェスティバルが開催されました。フェスティバルの目的は、生涯学習推進協議会の会員同士が交流する事と、広く市民に活動を知らせ、楽しく学び合い「やりがい」「生きがい」の日々を送る人生にエールを送る事。
開催当日の朝、協議会に加盟している67団体の中から、発表を申し出た団体の担当者が会場設営に集まります。重たいパネルを



団体から会の想いや活動内容が話され、団体間での交流が深められました。

江別消費者協会の寸劇「古着を売るつもりが…指輪を買い取られた」では、古着の訪問買取を頼んだはずなのに、巧みな言葉に惑わされ、売るつもりがなかった指輪を安価で買い取られたという事例が紹介されました。もう取り戻せないと諦めてしまいそうになりますが、お金を受け取ってもフリーリングオフができるという説明にひと安心。

会場の空気が変わったのは、ダンスとよさこいの登場でした。ダンス魂の発表では、小学2年生、高校生の12人がヒップホップダンスで手拍子を誘い、見ている方の気持ちを盛り上げます。最後の江別まつことええ&北海道情報大学の発表では、若さ溢れるよさこいの踊りと衣装の早変わりを間近に見て、誰もが笑顔になりました。

全ての団体発表が終わった後には、江別の特産品などが10名に当たる「お楽しみ抽選会」が開催され大盛況。参加した皆さん、いかがでしたか? 江別っていいまちだと思いませんか?

来年は協議会が発足して20周年という節目の年です。課題は次への一歩。健康で過ごしましょうと散会しました。お疲れさまでした。



祝

おめでとう!! 金メダル!!

賞賛第1号が、三好昇市長より右代啓祐選手に授与され、金メダルと共に会場の皆さんに披露されました。

地元江別で幼稚園、大麻泉小学校、大麻東中学校を過ごされた右代啓祐選手のこの栄誉と栄光の軌跡をお祝いし、更なる活躍を祈念しようと、江別市内はもとより近隣の市町村からも大勢の方々が参集しました。

祝勝会が開会し、右代啓祐選手の勇姿が現れると、入り口の鴨居に頭がぶつかりそうな立派な体格に改めて陸上競技の十種競技(10の跳ぶ・投げる・走る、それも短距離に長距離!)を制覇する力を見たような気がしました。

また、出身小学校・中学校の後輩達から激励作文や寄せ書きを手渡され、記念写真に納まるやさしい先輩の笑顔に、子ども達から目標とされる選手として活躍する姿を垣間見ることができました。

した。

「アジア大会の報告」として右代啓祐選手ご自身からの報告がされ、「一日にわたる十種競技の最後の種目まで2位で、何とかして1位に、金のメダル」と思い、最終種目である1500メートルを必死に走ったこと、後援会の皆さんや江別市民の皆さんの応援の声が届いて最後まで頑張れたことが、この日の成果として結実したと話されました。小さい頃の右代啓祐選手を知る人達からも「がんばったね! すこいね!」の声が上ががり、会場はその努力と感謝を忘れない言葉に感激を新たにしました。

各テーブルで記念写真に納まり、金メダルを皆に見せてくれたり持たせたりしてくれました。どれほどの努力の賜物かと思つその重さは、本当に貴重な計り知れない重さであり、練習は裏切らないという言葉の重さにつながるものがありました。

「来年の北京世界陸上、2016年のリオ五輪でもメダルを取り、江別に明るいニュースを届けたい。」という言葉からは、次の目標も、その次にある目標も右代啓祐選手は見据えている事が伝わります。「有言実行」をこのたび体現した素晴らしい事は、次もその次も多くの応援の声を背中に頑張ってくれるものと思えます。夢と希望を江別市民だけでなく、全道に全国に!!

頑張れ!! 右代啓祐選手!! 私達は、これからも貴方の夢と希望を応援します。

2014ふるさと江別塾

10月11日から11月22日までの間、市と市内4大学の連携協力により、四大学がそれぞれ専門の立場から、身近な問題について講義する「ふるさと江別塾」が開講されました。ここでは、実際に参加された方々の声をご紹介します。

【第1回】10月11日(土)

会場：北翔大学

講座①「地図活用や地域観察の視点を取り入れた防災教育」

講師/短期大学部

教授 菊地 達夫 氏

☆今迄全く感心がなかったが、出来る所からやってみようという気持ちになった。自然災害に対する意識が変わり視野が広がった。伝承することの大切さを実感した。

講座②「縄文遺跡の分布から地域防災の考え方を学ぶ」

講師/短期大学部

教授 菊地 達夫 氏

☆江別にこんなに遺跡があったとは初めて知りました。今度は自分の足で確かめようと思います。

【第2回】10月25日(土)

会場：酪農学園大学

講座①「地域産業と自然環境の共生」

講師/農食環境学群

准教授 吉田 磨 氏

☆大学としてこんなに地域を考えた環境を考えてくれているとは思いませんでした。活動内容を学べただけでなく、市の広報やイベントなどでもっとPRして欲しいです。

【第3回】11月1日(土)

会場：北海道情報大学

講座①「アナログからデジタルの「ものづくり」へ」

講師/経営情報学部

教授 古川 正志 氏

☆日頃、物を使いつつも、物を作る仕組みなど考えたことがなかったが、今日の講義で考えさせられ大変興味があった。自分が知らない世界へ入り込んだような感じであった。

【第4回】11月22日(土)

会場：札幌学院大学

講座①「現代社会とコンプライアンス—会社法はどう向きあおうとしているのか—」

講師/法学部

教授 小杉 伸次 氏

☆語り口がやわらかく、ジョークもあり、楽しく聞き入りました。短い時間にも関わらず内容も盛り沢山で、貴重なお話をうかがえました。ありがとうございました。

これからのイベント

◆おはなしなあに

○X'masおたのしみ会

クリスマスにちなんだボードビル、絵本、おはなしばねなど、小さなプレゼントをサンタさんからもらえます。

日時/2014年12月19日(金)
10:30~11:30

場所/大麻公民館研修室2号

○まめまき

赤鬼、青鬼が出て来ます。かせひきおにやなきむしおにも、豆まきでやっつけまーす。

日時/2015年1月30日(金)
10:30~11:30

場所/大麻公民館研修室2号

○おひなさま

おひなさまを作ります。

日時/2015年2月28日(土)
10:30~11:30

場所/大麻公民館研修室2号

◆札幌学院大学

○第5回札幌学院大学心理臨床センター市民講座「子どものこころの理解と支援」

「不登校の支援—発達課題の視点から—」

日時/2014年12月20日(土)
13:00~14:30

講師/手代木理子

場所/札幌学院大学B101教室

◆江別生涯学習インストラクターの会

○子育て支援事業「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」

身近なものを使って体を動かし親子で遊ぶ・手作りおもちゃで作って遊ぶ方法を学び合います。

日時/2015年1月24日(土)
10:30~11:30

場所/野幌公民館和室1・2号

講師/近江さつき(第2大麻幼稚園園長)

対象/0歳~3歳

参加費/無料

参加希望は

1月20日までに、011-383-5751(松山)まで

◆江別演劇鑑賞会

○CATプロデュース

「さくら色 オカンの嫁入り」

母と娘の絆を描く感動物語。

出演/熊谷真実、佐藤アツヒロ他

日時/2015年2月23日(月)
18:30~

場所/江別市民会館大ホール



講座②「江別地区の産業遺産について」
講師/農食環境学群
教授 山田 大隆 氏
☆江別市のレンガが道遺産に指定されていることを知り、誇りに思う。全体的に江別市は公私の努力の成果が何われ、整然として美しい。たくさん産業遺産を紹介して頂いたので、散策時の楽しみが増えた。



講座②「宇宙旅行の夢」
講師/経営情報学部
教授 若松 義男 氏
☆夢のある講義を拝聴できてとてもよかったです。何回かに分けてシリーズ化した講義をまたお聴きしたいです。



講座②「子どもの貧困—私たちの家族と社会のあり方を考える—」
講師/人文学部
講師 大澤 真平 氏
☆子どもの貧困について、新聞などで自分なりに理解していたつもりであったが、今日の講義を受け、何も分かっていなかったことを知らされた。これからは考え、見方に十分注意したいと思った。



講座①「現代社会とコンプライアンス—会社法はどう向きあおうとしているのか—」
講師/法学部
教授 小杉 伸次 氏
☆語り口がやわらかく、ジョークもあり、楽しく聞き入りました。短い時間にも関わらず内容も盛り沢山で、貴重なお話をうかがえました。ありがとうございました。



講座②「子どもの貧困—私たちの家族と社会のあり方を考える—」
講師/人文学部
講師 大澤 真平 氏
☆子どもの貧困について、新聞などで自分なりに理解していたつもりであったが、今日の講義を受け、何も分かっていなかったことを知らされた。これからは考え、見方に十分注意したいと思った。



講座①「現代社会とコンプライアンス—会社法はどう向きあおうとしているのか—」
講師/法学部
教授 小杉 伸次 氏
☆語り口がやわらかく、ジョークもあり、楽しく聞き入りました。短い時間にも関わらず内容も盛り沢山で、貴重なお話をうかがえました。ありがとうございました。

「第62回江別市女性大会」を終えて

江別市女性団体協議会

鈴木 智枝

10月1日に開催しました「第62回江別市女性大会」は、江別市総合計画「みんなであつくる未来のまち えべつ」の実現に向け、大会テーマを「魅力発見！発信！」とわが街江別として取り組み、市内在住の「ようへいさん」に講師をお願いしました。STVラジオのパーソナリティーを務めるようへいさんの講演は、断水の話に始まり、PHSのメール変換の不思議や薬の副作用表示の謎などあれこれ、会場は笑いが絶えませんでした。「住みやすい・自立している・人がやさしい」と江別の魅力を語り、「子ども達に町の良さを知ってもらおう」との大切さを強調されていました。

午後の部は琵琶と三味線の音色に耳を澄ませ、童歌や民謡の演奏では会場が声を合わせてステージを盛り立て、若い世代の講師・演奏者を応援する温かな雰囲気の大会となりました。

年々多くなる男性の参加に加え、今年も託児希望の方や車椅子での参加もあり、さりげなく気遣う人の姿に感謝した日でありました。ご参加頂きました皆様本当に有難うございました。



加盟団体研修会

企画運営

松山 和子

9月26日(金)、江別市生涯学習推進協議会の加盟団体研修会が、大麻公民館で開催されました。昨年に引き続き「地域活動に



おけるリーダーの在り方」をテーマとし、さらに今年も、地域に密着した活動をしているリーダーの方々に「実践発表」という形でお話をいただきました。

江別では「はるちゃん」のトマトケチャップ工房の代表として、また加工部会を動かすリーダーとして、地域から全国的なファンを作り活躍している豊幌在住の岡村恵子さんと、リタイア後の時間を



地域のためにと、現在も「あじさい亭」を地域の皆さんと楽しく運営されている、NPO法人あじさい亭会長で大麻在住の船戸實さんのお二人に発表していただきました。

限られた時間だったため、当日配布したアンケート用紙に質問を記入してもらい、回答はこの「ら・ら・ら71号」にてお答えするという形にいたしました。質問は1つでした。

質問「あじさい亭に参加されている方は高齢の方ばかりですか？若い方はいますか？」早速船戸さんにお伺いいたしました。

答え「お年寄りばかりでなく、若い人もいます。参考に、最年少は44歳男性(友誼NPO法人の理事長)、次は45歳と55歳のいずれも女性で、食事会に参加しスタッフとして活動しています。最高年齢は91歳の女性で、パソコン教室で勉強し毎月の食事会にも参加しています。平均年齢は73.6歳です。」

船戸さんにはお忙しいところお答えいただき有り難うございました。熱意と活力のあるお二人の実践発表は、研修会に参加された皆さんのエネルギーとなったのではないかと思います。

お二人の発表に共通している事として、仲間と心を合わせて知恵を出し合うと、集団が変容しそこに夢や希望が生まれ、それを失わないことにより、歳は取るが若い日々となる」という生き生きとした毎日が教示されていると思えました。明日は、今日より一歩前へ…励まされ力をいただいた研修会になりました。

《編集後記》

初雪が降りましたが、皆様お体の方はいかがでしょうか？

さて、ら・ら・らのレイアウトがリニューアルして、イベントの枠も大きく取り、より生涯学習の会を広めることができるようになりました。

皆様方の参加や情報提供をお待ちしています。

梶野 雅裕

What?

アメリカの手話 & 日本の手話



GREEN



緑色